

定量オミックス ワークショップ

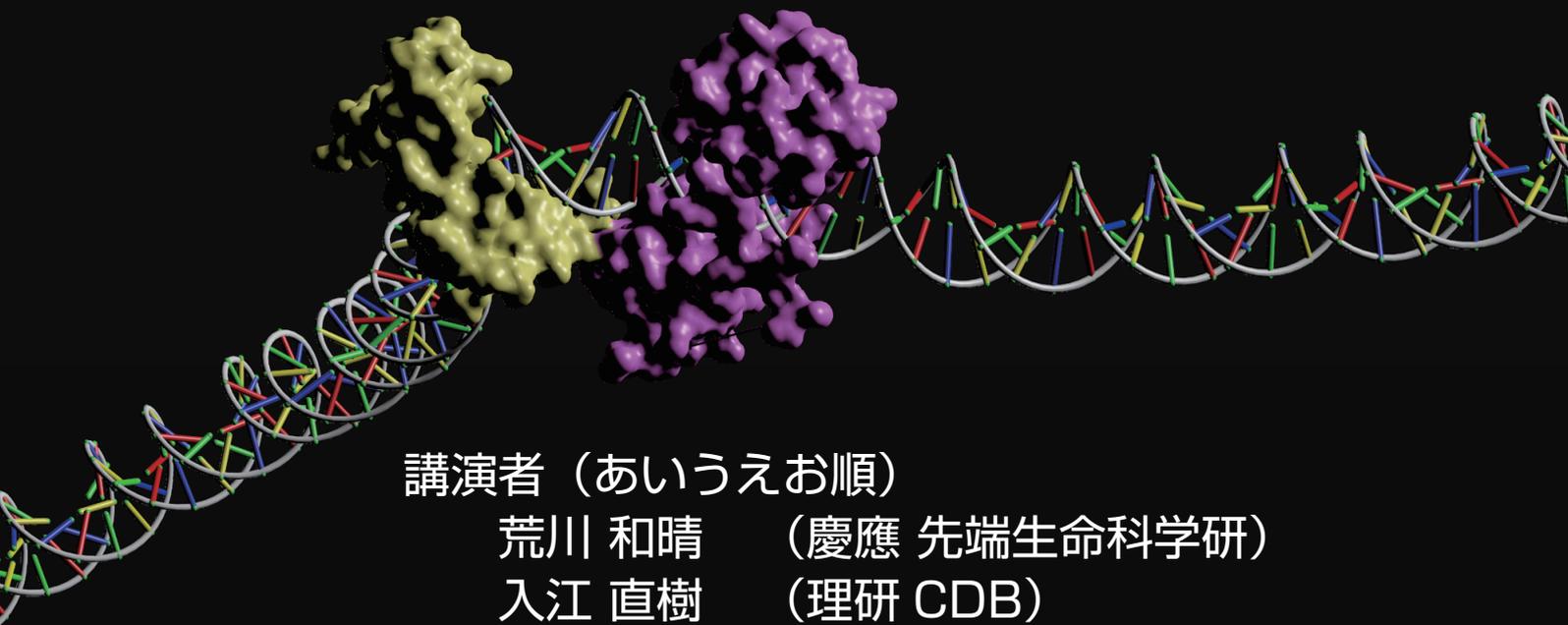


QBiC
QUANTITATIVE BIOLOGY CENTER

Quantitative Omics Workshop

2013/1/22 (Tue) @ OLABB

シーケンス技術・速度の向上に代表される近年の技術開発により、オミックスデータに基づく生命の定量的理解が進行しています。そこで、定量オミックスにより今後生命のモデル化がどこまでできるかを議論するため、本ワークショップを企画しました。



講演者（あいうえお順）

荒川 和晴	（慶應 先端生命科学研）
入江 直樹	（理研 CDB）
川路 英哉	（理研 OSC）
谷口 雄一	（理研 QBiC）
玉田 嘉紀	（東大院 情報理工）
永野 惇	（JST さきがけ、京大生態研）
二階堂 愛	（理研 CDB）

世話人：泰地 真弘人、上田 泰己（理研 QBiC）

Program

2013/1/22(Tue) One day

- 10:00-10:10 泰地 真弘人、上田 泰己 (理研 QBiC)
ワークショップ趣旨説明
- 10:10-11:10 二階堂 愛 (理研 CDB)
ChIP-seq の統計的モデリングで転写制御ネットワークの変化を捉える
- 11:10-11:55 玉田 嘉紀 (東大院 情報理工)
TBD
- 11:55-13:00 Lunch Break
- 13:00-13:45 永野 惇 (JST さきがけ、京大生態研)
野外環境におけるトランスクリプトームを理解する
- 13:45-14:30 入江 直樹 (理研 CDB)
発生システムのゆらぎと進化的可変性の理解にむけて
- 14:30-15:15 荒川 和晴 (慶應義塾大学 先端生命科学研究所)
生命活動はどのように始まり、そしてどのように止まるか
- ヨコヅナクマムシ乾眠機構からのアプローチ
- 15:15-15:45 Coffee Break
- 15:45-16:30 川路 英哉 (理研 OSC)
一分子シーケンサを用いたトランスクリプトーム定量的解析法とその応用
- 16:30-17:15 谷口 雄一 (理研 QBiC)
単一細胞レベルでの遺伝子発現のばらつきの法則性
- 17:15-17:30 柳田 敏雄、泰地 真弘人、上田 泰己 (理研 QBiC)
終わりに
- 18:00- 懇親会 (場所未定)

開催場所：

〒 565-0874 大阪府吹田市古江台 6-2-3
大阪大学バイオ関連多目的研究施設 (OLABB)
3F 会議室
TEL:06-6155-0111
阪急千里線・大阪モノレール 山田駅 徒歩 15 分

